

令和7年度 事務事業マネジメントシート

1 事業概要		段階： 令和6年度実施事業に係る事務事業評価				6575	健康づくりのためのスポーツ・レクリエーション啓発事業				文化スポーツ観光部	スポーツ振興課
		中事業番号		1231							所属コード	162000
政策体系		SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	意図（目的）	
大綱（取組）	Ⅳ 「誰もが地域で輝く未来」	3.4		2-2		○	○			○	市民向けに行われる健康づくりのスポーツ教室やスポーツイベントなどを、スポーツ関係団体と連携して広く紹介するなど、市民が気軽に参加できるよう啓発を行う。	
施策	2 好きなこと、得意なことを地域で学び生かせるまち										主体的に日常生活の中にスポーツを取り組むことが出来る環境を提供するとともに、日常生活にスポーツを取り入れるための意識啓発を行い、豊かなスポーツライフの実現を図る。	

事業開始時周辺環境（背景）		現状周辺環境		今後周辺環境（予測）		住民意向分析	
わが国では、利便性の向上や高度・情報化社会の進展などによる運動不足やストレス、また、平均寿命の伸長による急激な高齢化社会への移行などが、将来に向け、心身両面の健康への問題を生み出してきている。		スポーツ庁の所掌事務の一つに、「心身の健康の保持増進に資するスポーツの機会の確保に関すること」が掲げられ、健康のためのスポーツが重視されている中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、スポーツイベントの中止や外出自粛などもあり、市民の体力維持・健康増進ますます重要となった。		スポーツの参加者数、スポーツイベント開催状況が、コロナ禍前の活動状況となる。		コロナ禍を経て、更なる体力維持、健康増進のためのスポーツが望まれている。	

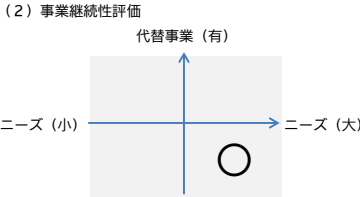
2 事業進捗等（指標等推移）

指標名	指標名	単位	2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度	2028年度	中間指標	最終指標
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	2021年度	2025年度
対象指標	市民	人		324,586		322,515		319,680								
活動指標①	健康づくりスポーツ教室種目数	回	14	14	13	12	13	15	10		10		10			
活動指標②	高齢者スポーツ大会等開催回数（R5まで）/健康づくりスポーツ教室回数（R6から）	回	2	1	2	2	50	81	50		50		50			
活動指標③																
成果指標①	健康づくりスポーツ教室参加者数（R5まで）/健康づくりスポーツ教室延べ参加者数（R6から）	人	900	505	500	468	1,600	1,587	1,600		1,600		1,600		630	1,600
成果指標②	高齢者スポーツ大会等参加者数（R5まで）/満足度（スポーツ取組）（R6から）	人/％	800	56	500	459	60	42	60		60		60		800	60
成果指標③	運動・スポーツ実施率	％		53	66	76	66	77	66		66		66		70	70
単位コスト（総コストから算出）	健康づくりスポーツ教室等参加者数1人あたりのコスト	千円		9		6.5		14.9	5		5		5			
単位コスト（所要一般財源から算出）	健康づくりスポーツ教室等参加者数1人あたりのコスト	千円		7		4.4		9.9	3		3		3			
事業費		千円		2,094		2,113		2,341	3,095		3,095		3,095			
人件費		千円		2,876		4,005		4,684	4,005		4,005		4,005			
歳出計（総事業費）		千円		4,970		6,118		7,025	7,100		7,100		7,100	0		
国・県支出金		千円		950					0		0		0			
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円		87		106		113	100		100		100			
その他		千円				1,844		2,225	2,995		2,995		2,995			
一般財源等		千円		3,933		4,168		4,687	4,005		4,005		4,005	0		
歳入計		千円		4,970		6,118		7,025	7,100		7,100		7,100	0		
		実計区分	評価結果	継続	継続	継続	継続	継続		継続						

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
・健康づくりスポーツ教室の種目数及び実施回数について、計画を上回る開催状況であった。		・健康づくりスポーツ教室延べ参加者数については、活動指標における実施回数等が目標を上回ったこと等により、目標数値の達成となった。 ・ネットモニターにおけるスポーツへの満足度については、計画値に及ばなかった。 特に10代から30代において、満足度が低い状況となっている。		【事業費】 ・事業費については、歳出額は前年と同程度であった。 財源には、地方創生応援基金繰入金を充当した。 【人件費】 ・人件費については、スポーツ教室を担当していた配置任用職員が、教室開催に専念する体制としたため、前年と比較して増額となった。	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価	
1 規模・方法の妥当性	4
2 公平性	4
3 効率性	4
4 活動指標（活動達成度）	4
5 成果指標（目的達成度）	4



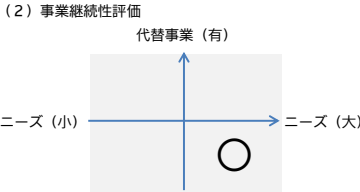
継続	一次評価コメント
継続	スポーツをする機会が少ない方を対象とする市民スポーツ教室について、計画通りに開催できた。 市民の運動、スポーツの実施率についても、成果指標目標値を達成している状況にあるが、今後もスポーツを楽しむ環境を提供し、引き続き、市民の健康や体力の保持・増進を図るため、継続して事業を実施する。

5レス	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
	○		○		

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価	
1 規模・方法の妥当性	3
2 公平性	3
3 効率性	3
4 活動指標（活動達成度）	4
5 成果指標（目的達成度）	4



継続	二次評価コメント
継続	健康づくりスポーツ教室が計画値を大幅に超えて開催され、延べ参加者数も1,587人とほぼ計画値を達成した。 参加者が増加傾向にある一方、ネットモニターにおけるスポーツへの満足度は特に若年層（10代～30代）が低い点については課題として認識され、今後ターゲット層に向けた効果的な施策の展開が必要である。また、単位コストも増加傾向にあるため、効率的な事業実施について検討課題がある。 高齢化社会の進展や市民の健康増進と体力向上に対応するため、引き続き本事業の継続は必要不可欠であることから、継続して事業を実施する。

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画	